

2026年2月25日

整形外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「若年者における解剖学的二重束前十字靭帯再建術後の非接触性再断裂と骨孔形態との関連に関する後ろ向き観察研究」への協力をお願い

整形外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象：**2016年1月1日～2022年12月31日の間に、当科において、解剖学的二重束前十字靭帯（ACL）再建術を受けられた15～19歳の患者様。

**研究期間：**研究機関の長の研究実施許可日～2027年3月31日

### 研究目的・利用方法：

当院では、解剖学的二重束 ACL 再建術を受けた若年患者様における術後再断裂のリスク因子について検討しています。近年、骨の形態や骨孔位置などの構造的因子が再断裂に関与する可能性が報告されています。本研究では、術前 MRI および術後 CT 画像から測定した形態指標と、非接触性再断裂との関連を明らかにすることを目的としています。

### 研究に用いる試料・情報の項目：

年齢、性別、受傷側、BMI、Tegner スコア、半月板損傷の有無、再断裂の有無、膝関節 MRI・CT

**研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：**2026年3月31日

### 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、朝日大学病院医学倫理審査委員会において審査、承認され、病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

### 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び朝日大学病院に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および

び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

#### 研究責任者

朝日大学病院 整形外科

氏名：武内優子

#### 連絡先

朝日大学病院 整形外科

電話番号：058-253-3425

氏名：武内優子

